

体を遊ばせながら、科学の心を、と大阪経済大助教授(数理学)、西山豊さん(豊)がブーメランの普及に取り組んでいる。「豊さん」がブーメランの普及に取り組んでいる。「豊さん」がブーメランの普及に取り組んでいる。「豊さん」がブーメランの普及に取り組んでいる。

「遊びながら科学する！」



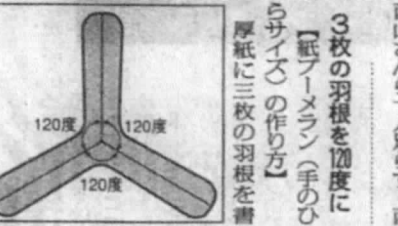
写真の青年のようにブーメランを垂直に持って投げると、ブーメラン(上が板型、下が厚紙製)が戻ってくる。

ブーメラン 静かなブーム

に取り組んでおり、「科学の面白さ」と「ブーメランの面白さ」を両立させたい。西山さん自身、子供のころ、おもちゃのブーメランがうまく戻らず、ずいぶんうらやましかった思い出を持つ。

飛行原理いまだナゾ 大経大助教授普及に努力

その原理は、現代の科学も説明しきれていない。一九六八年、オランダの物理学者が科学雑誌に寄せた論文が、最も本格的な研究例。しかしこの研究も、



3枚の羽根を120度の角度に「紙」ブーメラン(手のひらサイズの作り方)厚紙に3枚の羽根を書き、

【投げ方】羽根の端をつまむようにして垂直に立て、目標より少し上向きに、手首を利かせて、できるだけ回転するよう投げる。風の日は無理。微風なら、右利きの人は風を左肩に受ける角度で手放す。

お父さん料理 若菜粥



春菊とごま油で仕上げた若菜粥。お父さん料理の定番。

あしたは七草。古代中国の揚子江沿岸では正月七日を八日と呼び、人の運を占いました。この日、七種の野草を摘み、スープに仕立てて飲みました。七草はおそらくお粥を炊くための材料です。

森の木の葉の世に末談 ほんとは少年時代を大阪で過ごしたもので、もの考え方の根本には、大阪がそのまわりのような気がする。もっとも北摂の豊中だったから、本来の大阪育ちでもない。大阪市内の空気を吸ったことになったのは、中学生になってから。大阪市の北半分には住んでいない。河内や和泉よりは、同じ機津川という町で、むしろ神戸に近い感覚を持っていた。いわゆる阪神文化圏である。野行へくらは、神戸に行けばよかった。



そのころは京都へ行くことがあっても、古い都という感じがしなかった。しかし三高(今の京大教養部)へ行くと、今までの京都びいきである。

大阪の人は京都を冷たいよ、に言うが、本来社交とはいっていいもの。長い間の都であったから、異国人や異文化が入ってきて、異国人や異文化のつきあいに慣れている。べつと同一化するのは社交ではなく、異国なものとのつきあいが社交である。だから、京都は大阪のようになんでもなかった。仕方がない。これもまた、国際化日本の社交としてなかなかのもの。意外に新しい異国なものへの許容度は高い。古くから、古いものを維持するためのものではなく、新しいものを消化できる力もある。これはこれで、

年が明けると、すぐ成人式です。昔、男子の成人(元服)の時に冠をかぶる儀式が行われ、これが「冠婚葬祭」の「冠」の語のもとになりました。

好きな演劇で踊る 私は演劇大好き人間。いろいろ方セットアップをかけて楽しみますが、その中で特に気に入った曲に踊りの振りをつけ、いわゆる創作舞踊を発表することにしました。町の文化祭でとやがちな女踊りと勇ましい男踊りを交互に発表し、一年に一作でこれ以上のものはないと極めつけの振り付けをしたつもりです。昨年、は村田英雄の「無法松の一生」で踊り、袴と帯を購入しました。自分で踊るのもおもしろい。小学校の講堂でお芝居を見せてくれました。顔なじみの人が演じてくれるので、本音に楽しんでいます。その日を待ちこがれたものです。私の娘も青年団員でしたので、花売り娘にふんして出陣したかったです。またお芝居には婦人会の人たちが自作の寸劇などを披露していました。和歌山県有田市、山本とみ子(仮名)。

自分の行為には社会的責任を負わなければなりません。昨今、成人式は没個性化した振りそでショーのようになっていて、お

演芸 好きな演劇で踊る 私は演劇大好き人間。いろいろ方セットアップをかけて楽しみますが、その中で特に気に入った曲に踊りの振りをつけ、いわゆる創作舞踊を発表することにしました。町の文化祭でとやがちな女踊りと勇ましい男踊りを交互に発表し、一年に一作でこれ以上のものはないと極めつけの振り付けをしたつもりです。昨年、は村田英雄の「無法松の一生」で踊り、袴と帯を購入しました。自分で踊るのもおもしろい。小学校の講堂でお芝居を見せてくれました。顔なじみの人が演じてくれるので、本音に楽しんでいます。その日を待ちこがれたものです。私の娘も青年団員でしたので、花売り娘にふんして出陣したかったです。またお芝居には婦人会の人たちが自作の寸劇などを披露していました。和歌山県有田市、山本とみ子(仮名)。

目線を立てる、甘えを捨て責任ある行動と自立を齎すなど、大人としての自覚をしっかりと持って歩いてほしいと思います。(寺口邦子)

世界的にも近年、軽スポーツとしてちょっとしたブーム。八八年から世界大会が開かれている。わが国は昨年八月、日本大会を初開催。九四年の世界大会は神奈川県平塚市で開かれる。「航空六ニヤ製」でも、重さは五〇グラムで、体は軽く、手のひらサイズだと高さ五、六、広さ一〇、四方あれば十分。体育館など室内でもOKです。(西山さん)

目標を立てる、甘えを捨て責任ある行動と自立を齎すなど、大人としての自覚をしっかりと持って歩いてほしいと思います。(寺口邦子)

おつきあいの知恵

おつきあいの知恵